

消費者安全調査委員会の動き 第46号

(平成29年1月26日)

今回の内容：会議情報

会議情報

最近の消費者安全調査委員会での議論についてお知らせします。

第53回消費者安全調査委員会（平成29年1月26日）

- 「子供による医薬品誤飲事故」事案のフォローアップ
「子供による医薬品誤飲事故」事案に関するフォローアップとして、消費者庁及び厚生労働省からヒアリングを行いました。
本事案は、平成27年12月に報告書を公表し、消費者庁及び厚生労働省に意見具申したものです。
今月の委員会では、平成27年に行った意見具申に対する両省庁の取組状況について報告をいただき、委員との意見交換を行いました。
厚生労働省においては、関係機関に対して、チャイルドレジスタンス包装容器の導入の検討や、家庭での医薬品の適切な管理に関する周知を実施するよう要請が行われ、現在は、日本製薬団体連合会等においてチャイルドレジスタンス包装容器の具体的な検討が行われていること、日本薬剤師会等からポスターによる啓発が行われていることなどが確認できました。
また、消費者庁からは、子供安全メールによる注意喚起のほか、地方公共団体を通じて啓発を行っていることを確認しました。
調査委員会としては、両省庁による啓発・周知の取組が今後も継続的に行われることが必要であると考えています。また、チャイルドレジスタンス包装容器の導入に関する具体的な検討について、同省から日本製薬団体連合会等に対し、平成29年度前半に結果の報告を求めるとの報告がありましたので、調査委員会としては、引き続き、チャイルドレジスタンス包装容器の導入に関する検討状況についてフォローし、同省からの報告を求めるとしました。
- 「体育館の床から剥離した床板による負傷事故」事案
報告書の骨子案について事務局から説明を受け、議論を行いました。
- 一般の方からいただいた「申出」事案
事務局から、類似事例、制度等の関連情報や専門委員の見解などの情報収集の結果が報告され、その内容に基づき調査委員会で検討した結果、そのうち2件については調査を行わないことになりました。残りの案件（38件）については、引き続き、臨時委員、専門委員等の知見も活用しながら、事務局で丁寧に情報収集を行った上で、調査委員会において判断していくこととなります。

部会の動き

- 製品等事故調査部会（1月上旬に開催）
 - ・玩具による子供の気道閉塞事故
原因究明に向けた調査全体の進め方についての議論を行いました。
- サービス等事故調査部会（1月上旬に開催）
 - ・体育館の床から剥離した床板による負傷事故
報告書骨子案に関する議論を行いました。